

令和4年(2022年)

[I] 著書

- 1) 青井重善：結腸・直腸肛門の先天性奇形 排泄リハビリテーション理論と臨床. 東京：中山書店, pp190-194, 2022.
- 2) Tajiri T, Higashi M: Molecular biology and genetics of cancer. Pediatric Surgical Oncology. CRC Press, USA: pp10-13, 2022.
- 3) 文野誠久, 他：日本小児外科学会編 腸回転異常症診療ガイドライン. 東京：東京医学社, 2022.

[II] 総説

- 1) 文野誠久, 青井重善, 古川泰三, 打谷円香, 田尻達郎：頸部リンパ管腫に対する最新の集学的治療. 小児科, 63：415-420, 2022.
- 2) 坂井宏平, 金 聖和, 東 真弓, 文野誠久, 青井重善, 古川泰三, 田尻達郎：【医療的ケア児支援と在宅医療】大学病院小児外科における医療的ケア児に対する取り組み. 小児外科, 54：485-488, 2022.
- 3) 青井重善, 文野誠久, 金 聖和, 高山勝平, 東 真弓：【高位・中間位鎖肛手術術式の成績と問題点アップデート】根治術における筋群切開の検討. 小児外科, 54：687-690, 2022.
- 4) 三村和哉, 青井重善, 竹本正和, 高山勝平, 金 聖和, 文野誠久：【診断困難な小児外科症例：早期診断へのポイントとヒント】術前診断が困難であった腸間膜内ヘルニアの1例. 小児外科, 54：1071-1075, 2022.
- 5) 青井重善, 津田知樹：【診断困難な小児外科症例：早期診断へのポイントとヒント】Hirschsprung 病類縁疾患. 小児外科, 54：1094-1097, 2022.
- 6) 田尻達郎：仙尾部奇形腫の治療戦略. 日本周産期・新生児医学会雑誌, 57：590-592, 2022.
- 7) 青井重善：ディベート・セッション2 高位・中間位鎖肛の標準術式；肛門挙筋を切って良いか, 切らない方が良いか? 第58回日本小児外科学会学術集会記録. 日小外誌, 58：24-25, 2022. doi: 10.11164/jjsps.58.1\_1.

[III] 原著

A) 英文

- 1) Takimoto A, Fumino S, Takayama A, Kim K Aoi S, Furukawa T, Hongo F, Yano M, Ishida H, lehara T, Tajiri T: Laparoscopic resection of pediatric interaortocaval large paraganglioma. J Pediatr Surg Case Rep, 78: 102195, 2022. doi: org/10.1016/j.epsc.2022.102195.
- 2) Hara J, Nitani C, Shichino H, Kuroda T, Hishiki T, Soejima T, Mori T, Matsumoto K, Sasahara Y, lehara T, Miyamura T, Kosaka Y, Takimoto T, Nakagawara A, Tajiri T, JNBSG: Outcome of children with relapsed high-risk neuroblastoma in Japan and analysis of the role of allogeneic hematopoietic stem cell transplantation. Jpn J Clin Oncol, 52: 486-492, 2022. doi: 10.1093/jjco/hyac007.
- 3) Kambe K, Fumino S, Sakai K, Higashi M, Aoi S, Furukawa T, Tajiri T: Predictive factors for

- fundoplication following esophageal atresia repair. *Pediatr Int*, 64: e15026, 2022. doi: 10.1111/ped.15026.
- 4) Kawano T, Souzaki R, Sumida W, Ishimaru T, Fujishiro J, Hishiki T, Kinoshita Y, Kawashima H, Uchida H, Tajiri T, Yoneda A, Oue T, Kuroda T, Koshinaga T, Hiyama E, Nio M, Inomata Y, Taguchi T, Ieiri S: Laparoscopic approach for abdominal neuroblastoma in Japan: results from nationwide multicenter survey. *Surg Endosc*, 36: 3028-3038, 2022. doi: 10.1007/s00464-021-08599-4.
  - 5) Yamoto M, Nagata K, Terui K, Hayakawa M, Okuyama H, Amari S, Yokoi A, Masumoto K, Okazaki T, Inamura N, Toyoshima K, Koike Y, Yazaki Y, Furukawa T, Usui N: Long-Term Outcomes of Congenital Diaphragmatic Hernia: Report of a Multicenter Study in Japan. *Children (Basel)*, 9: 856, 2022. doi: 10.3390/children9060856.
  - 6) Sengoku Y, Higashi M, Nagayabu K, Takayama S, Fumino S, Aoi S, Furukawa T, Tajiri T: IL13 and periostin in active fibrogenic areas of the extrahepatic bile ducts in biliary atresia patients. *Pediatr Surg Int*, 38: 1847-1853, 2022. doi: 10.1007/s00383-022-05238-4.
  - 7) Kambe K, Iguchi M, Higashi M, Yagyu S, Fumino S, Kishida T, Mazda O, Tajiri T: Development of minimally invasive cancer immunotherapy using anti-disialoganglioside GD2 antibody-producing mesenchymal stem cells for neuroblastoma mouse model. *Pediatr Surg Int*, 39: 43, 2022. doi: 10.1007/s00383-022-05310-z.
  - 8) Takimoto A, Fumino S, Iguchi M, Takemoto M, Takayama S, Kim K, Higashi M, Aoi S: Current treatment strategies for postoperative intrahepatic bile duct stones in congenital biliary dilatation: a single center retrospective study *BMC Pediatrics*, 22: 695, 2022. Doi: 10.1186/s12887-022-03759-4.
  - 9) Masahata K, Yamoto M, Umeda S, Nagata K, Terui K, Fujii M, Shiraishi M, Hayakawa M, Amari S, Masumoto K, Okazaki T, Inamura N, Toyoshima K, Koike Y, Furukawa T, Yazaki Y, Yokoi A, Endo M, Tazuke Y, Okuyama H, Usui N: Prenatal predictors of mortality in fetuses with congenital diaphragmatic hernia: a systematic review and meta-analysis. *Pediatr Surg Int*, 38: 1745-1757, 2022. doi: 10.1007/s00383-022-05232-w.
  - 10) Terui K, Nagata K, Yamoto M, Hayakawa M, Okuyama H, Amari S, Yokoi A, Furukawa T, Masumoto K, Okazaki T, Inamura N, Toyoshima K, Koike Y, Okawada M, Sato Y, Usui N: A predictive scoring system for small diaphragmatic defects in infants with congenital diaphragmatic hernia. *Pediatr Surg Int*, 39: 4, 2022. doi: 10.1007/s00383-022-05287-9.
  - 11) Kono J, Nagata K, Terui K, Amari S, Toyoshima K, Inamura N, Koike Y, Yamoto M, Okazaki T, Yazaki Y, Okuyama H, Hayakawa M, Furukawa T, Masumoto K, Yokoi A, Usui N, Tajiri T: The efficacy of the postnatal nasogastric tube position as a prognostic marker of left-sided isolated congenital diaphragmatic hernia. *Pediatr Surg Int*, 38: 1873-1880, 2022. doi: 10.1007/s00383-022-05226-8.

**B) 和文**

- 1) 瀧本篤朗, 津田知樹, 武内悠馬, 坂井宏平, 東 真弓, 文野誠久, 青井重善, 古川泰三, 田尻達郎: 腹腔鏡補助下脾固定術を施行した先天性横隔膜ヘルニア術後遊走脾の1例. 日小外会誌, 58: 62-67, 2022. doi: 10.11164/jjsps.58.1\_62
- 2) 辻 亮多, 古川泰三, 坂野慎哉, 廣畑吉昭, 高山勝平, 坂井宏平, 東 真弓, 青井重善, 文野誠久, 田尻達郎: 腸閉塞を契機に発見された新生児虫垂炎の1例. 日小外会誌, 58: 783-787, 2022. doi: 10.11164/jjsps.58.5\_783.

**[IV] 学会発表**

**A) 国際学会**

- 1) Takimoto A, Fumino S, Takemoto M, Takayama S, Kim K, Higashi M, Aoi S: Treatment strategies for postoperative intrahepatic bile duct stones in congenital biliary dilatation. 55<sup>th</sup> Pacific Association of Pediatric Surgeons (PAPS), 2022 Sep 18-22; Quito (hybrid).
- 2) Fumino S, Takemoto M, Takayama S, Kim K, Higashi M, Furukawa T, Aoi S: Multidisciplinary approach for infantile cervical lymphatic malformations: A 20-year single-institution experience. 55<sup>th</sup> Pacific Association of Pediatric Surgeons (PAPS), 2022 Sep 18-22; Quito (hybrid).
- 3) Kambe K, Iguchi M, Higashi M, Yagyu S, Fumino S, Kishida T, Mazda O, Tajiri T: Development of minimally invasive cancer immunotherapy using anti-disialoganglioside GD2 antibody-producing mesenchymal stem cells for neuroblastoma mouse model. 35<sup>th</sup> International Symposium on Paediatric Surgical Research (ISPSR), 2022 Oct 21-23; Osaka.
- 4) Fumino S, Yamashi K, Inoue M, Higashi M, Tajiri T: Systemic inflammation on a local tumor-bearing host enhances metastatic growth in a mouse syngenic metastatic neuroblastoma model. 35<sup>th</sup> International Symposium on Paediatric Surgical Research (ISPSR), 2022 Oct 21-23; Osaka.

**B) 特別講演, 招聘講演, 基調講演, 教育講演など**

- 1) 文野誠久: ラパリムス時代における難治性リンパ管奇形に対する集学的治療戦略【ランチョンセミナー】. 第38回日本小児外科学会秋季シンポジウム/PSJM2022, 2022年10月27日; 岡山.
- 2) 青井重善: 小児外科術後の栄養療法【ミニレクチャー】. 第25回南京都NSTを考える会, 2022年12月10日; 京都.

**C) 座長**

- 1) 青井重善: 一般演題; 直腸肛門. 第59回日本小児外科学会定期学術集会, 2022年5月19日; 東京.
- 2) 文野誠久: 一般演題; 腫瘍1. 第59回日本小児外科学会定期学術集会, 2022年5月20日; 東京.
- 3) 金 聖和: 一般演題; 消化管1. 第58回日本小児外科学会近畿地方会, 2022年8月27日; 大阪.
- 4) 文野誠久: 女性医師活躍支援委員会特別企画シンポジウム. 第64回日本小児血液・がん学会学術集会, 2022年11月27日; Web.

D) シンポジウム, ワークショップ, パネルディスカッションなど

- 1) 文野誠久, 金 聖和, 青井重善, 古川泰三, 鴻村 寿, 水津 博, 加藤充純, 松橋延壽, 吉田和弘, 田尻達郎: 京都岐阜小児外科カンファレンス (KGPS) を通じた地方間小児外科医療・教育・研究パートナーシップ【パネルディスカッション; 少子化社会と小児外科育成】. 第 122 回日本外科学会定期学術集会, 2022 年 4 月 16 日; 熊本.
- 2) 瀧本篤朗, 文野誠久, 高山勝平, 金 聖和, 青井重善, 古川泰三, 田尻達郎: 当科における先天性胆道拡張症の術後晩期肝内結石の検討【ワークショップ; 先天性胆道拡張症手術と術後早期・遠隔期合併症と対策】. 第 59 回日本小児外科学会学術集会, 2022 年 5 月 19 日; 東京.
- 3) 文野誠久, 高山勝平, 金 聖和, 東 真弓, 青井重善, 古川泰三, 田尻達郎: 大学医局における小児外科医育成の取り組み～医師密集地域と過疎地域の両立を目指して【ワークショップ; 小児外科教育: 優秀な小児外科医を効率的に育成するには】. 第 59 回日本小児外科学会学術集会, 2022 年 5 月 20 日; 東京.
- 4) 文野誠久, 高山勝平, 金 聖和, 青井重善, 古川泰三, 家原知子, 内藤泰行, 山岸正明, 井上匡美, 相部則博, 田尻達郎: 小児固形悪性腫瘍に対する集学的治療における小児外科医の役割【シンポジウム; 小児がん集学的治療における外科系診療科の果たす役割】. 第 47 回日本外科系連合学会学術集会, 2022 年 6 月 16 日; 盛岡.
- 5) 文野誠久, 竹本正和, 高山勝平, 金 聖和, 東 真弓, 古川泰三, 青井重善: リンパ管奇形に対するシロリムス内服療法と外科治療の併用について—自験例を中心に—【シンポジウム; 難治性リンパ管疾患への薬物療法】. 第 18 回日本血管腫血管奇形学会学術集会, 2022 年 9 月 16 日; 浦安.
- 6) 金 聖和, 竹本正和, 高山勝平, 東 真弓, 文野誠久, 青井重善, 古川泰三: 当科における食道閉鎖症根治術後のサルベージ手術. 第 38 回日本小児外科学会秋季シンポジウム, 2022 年 10 月 29 日; 岡山.
- 7) 高山勝平, 文野誠久, 金 聖和, 東 真弓, 青井重善: 当科における小児噴門形成術後再発例に対するサルベージ手術の検討. 第 38 回日本小児外科学会秋季シンポジウム, 2022 年 10 月 29 日; 岡山.
- 8) 文野誠久, 竹本正和, 高山勝平, 金 聖和, 青井重善, 宮地 充, 土屋邦彦, 家原知子: 小児における被ばく低減手術としての性腺移動・温存手術. 第 64 回日本小児血液・がん学会学術集会, 2022 年 11 月 25 日; 東京.
- 9) 文野誠久, 瀧本篤朗, 三村和哉, 高山勝平: 神経芽腫群腫瘍における原発巣切除に対する至適アプローチ: Open? 鏡視下手術?【パネルディスカッション; 小児腫瘍に対する至適アプローチ: Open vs 内視鏡外科手術】. 第 35 回日本内視鏡外科学会総会, 2022 年 12 月 10 日; 愛知.

E) 一般講演 (ポスター発表を含む)

- 1) 三村和哉, 文野誠久, 高山勝平, 金 聖和, 青井重善, 古川泰三, 田尻達郎, 宮地 充, 家原知子, 下村雅律, 井上匡美: 当院における小児骨肉腫肺転移に対する外科治療の検討. 第 44 回近畿小児血液・がん研究会, 2022 年 2 月 12 日; Web.
- 2) 魚住祐介, 嶋村 藍, 金 聖和, 古川泰三, 東 真弓, 文野誠久, 青井重善, 田尻達郎: 複雑心奇形に肺分画症・先天性横隔膜ヘルニアを合併した 1 例の治療経験. 第 85 回小児外科わからん会, 2022 年 3 月 12 日; Web.
- 3) 高山勝平, 古川泰三, 金 聖和, 東 真弓, 文野誠久, 青井重善, 田尻達郎: 当科における右先天性横隔膜ヘルニアの検討. 第 122 回日本外科学会定期学術集会, 2022 年 4 月 14~16 日; Web.

- 4) 金 聖和, 青井重善, 高山勝平, 東 真弓, 文野誠久, 古川泰三, 田尻達郎: 総排泄腔症に伴う子宮卵管留血腫に対する当科の治療経験と戦略. 第 122 回日本外科学会定期学術集会, 2022 年 4 月 14~16 日; Web.
- 5) 井口雅史, 馬庭淳之介, 神部浩輔, 東 真弓, 文野誠久, 青井重善, 古川泰三, 柳生茂希, 岸田綱郎, 松田 修, 田尻達郎: 神経芽腫に対する抗 GD2 抗体遺伝子導入間葉系幹細胞の開発. 第 122 回日本外科学会定期学術集会, 2022 年 4 月 14~16 日; Web.
- 6) 瀧本篤朗, 文野誠久, 高山勝平, 金 聖和, 東 真弓, 青井重善, 古川泰三, 田尻達郎: 当科における先天性胆道拡張症の術後肝内結石の検討. 第 122 回日本外科学会定期学術集会, 2022 年 4 月 15 日; 熊本 (ハイブリッド).
- 7) 竹本正和, 田中智子, 辻 亮多, 富樫佑一, 東 真弓, 文野誠久, 田尻達郎: pERK 陽性神経芽腫に対する MEK 阻害剤トラメチニブと YAP 阻害剤 CA3 併用療法の in vitro および in vivo における抗腫瘍効果の検討. 第 122 回日本外科学会定期学術集会, 2022 年 4 月 16 日; 熊本 (ハイブリッド).
- 8) 瀧本篤朗, 高山勝平, 金 聖和, 東 真弓, 文野誠久, 青井重善, 古川泰三, 田尻達郎: Pseudoectopy による臍の位置異常に対して審査腹腔鏡と臍形成術を行った一例. 第 8 回日本小児へそ研究会, 2022 年 4 月 15 日; Web.
- 9) 高山勝平, 嶋村 藍, 三村和哉, 瀧本篤朗, 文野誠久, 青井重善, 古川泰三: 当院における先天性胆道拡張症に対する腹腔鏡手術の実際. 第 447 回日本小児科学会京都地方会, 2022 年 5 月 8 日; Web.
- 10) 高山勝平, 文野誠久, 金 聖和, 東 真弓, 青井重善, 古川泰三, 田尻達郎: 腹腔鏡補助下 Hirschsprung 病根治術の術後排便機能の術式別比較. 第 59 回日本小児外科学会学術集会, 2022 年 5 月 19 日; 東京.
- 11) 魚住祐介, 高山勝平, 金 聖和, 東 真弓, 文野誠久, 青井重善, 古川泰三, 田尻達郎: 術前に診断可能であった 2 カ所の狭窄部を有する先天性十二指腸狭窄症の 1 例. 第 59 回日本小児外科学会学術集会, 2022 年 5 月 19 日; 東京.
- 12) 仙石由貴, 東 真弓, 永藪和也, 古川泰三, 高山勝平, 金 聖和, 文野誠久, 青井重善, 田尻達郎: 胆道閉鎖症の肝外胆管周囲における IL13 および periostin の病態への関与. 第 59 回日本小児外科学会学術集会, 2022 年 5 月 20 日; 東京.
- 13) 岩井宏樹, 文野誠久, 高山勝平, 金 聖和, 東 真弓, 青井重善, 古川泰三, 田尻達郎: 前皮神経絞扼症候群 (ACNES) 非典型例に対して外科治療を行った小児 2 例の経験. 第 59 回日本小児外科学会学術集会, 2022 年 5 月 20 日; 東京.
- 14) 三村和哉, 文野誠久, 高山勝平, 金 聖和, 青井重善, 古川泰三, 田尻達郎, 宮地 充, 家原知子, 下村雅律, 井上匡美: 当院における小児骨肉腫肺転移に対する外科治療の検討. 第 59 回日本小児外科学会学術集会, 2022 年 5 月 20 日; 東京.
- 15) 嶋村 藍, 高山勝平, 金 聖和, 東 真弓, 文野誠久, 青井重善, 古川泰三, 田尻達郎: 無脾症候群を伴う食道裂孔ヘルニアに対しての外科治療方針. 第 59 回日本小児外科学会学術集会, 2022 年 5 月 20 日; 東京.
- 16) 廣畑吉昭, 青井重善, 高山勝平, 金 聖和, 東 真弓, 文野誠久, 古川泰三, 田尻達郎: 急性腹症で発症した未診断小児 Crohn 病の 1 例. 第 59 回日本小児外科学会学術集会, 2022 年 5 月 20 日; 東京.

- 17) 金 聖和, 青井重善, 高山勝平, 東 真弓, 文野誠久, 古川泰三, 田尻達郎: 女兒低位鎖肛に対する手術戦略—当科の治療経験から. 第 59 回日本小児外科学会学術集会, 2022 年 5 月 20 日; 東京.
- 18) 津田知樹, 川脇拓磨, 小西 快, 武内悠馬, 瀧本篤朗: 術前に精巣虚血を診断しえた鼠径ヘルニア嵌頓の一例. 第 59 回日本小児外科学会学術集会, 2022 年 5 月 20 日; 東京.
- 19) 檜 顕成, 阿部眞由美, 石垣隆士, 横田一樹, 坂入 実, 城田千代栄, 住田 互, 牧田 智, 岡本眞宗, 滝本愛太郎, 安井昭洋, 高田瞬也, 中川洋一, 天野日出, 仲野 聡, 内田広夫, 文野誠久, 田尻達郎: 尿中代謝物 (MTS, VLA, MTR) による悪性度予測マーカーの可能性. 第 59 回日本小児外科学会学術集会, 2022 年 5 月 20 日; 東京.
- 20) 坂井幸子, 生地笑子, 久保田良浩, 田尻達郎, 谷 眞至: Hirschsprung 病診断での calretinin と choline transporter 免疫染色併用の有用性の検討. 第 59 回日本小児外科学会学術集会, 2022 年 5 月 20 日; 東京.
- 21) 正畠和典, 矢本真也, 梅田 聡, 藤井 誠, 白石真之, 永田公二, 照井慶太, 早川昌弘, 甘利昭一郎, 増本幸二, 岡崎任晴, 稲村 昇, 漆原直人, 豊島勝沼, 内田恵一, 古川泰三, 岡和田学, 横井暁子, 田附裕子, 奥山宏臣, 臼井規朗: 先天性横隔膜ヘルニアに対する重症度予測指標の検討: システマティックレビュー. 第 59 回日本小児外科学会学術集会, 2022 年 5 月 20 日; 東京.
- 22) 金 聖和, 文野誠久, 嶋村 藍, 竹本正和, 高山勝平, 青井重善, 古川泰三, 宮地 充, 家原知子, 小西英一, 岡島英明: がん遺伝子パネルにより診断が確定した切除不能肝門部腫瘍を形成した乳児筋線維腫症の一例—外科的マネージメントの工夫—. 第 104 回京滋小児悪性腫瘍懇話会, 2022 年 6 月 17 日; 京都 (ハイブリッド).
- 23) 文野誠久, 古川泰三, 青井重善, 金 聖和, 高山勝平, 東 真弓, 田尻達郎: 新生児期発症頸縦隔リンパ管奇形に対する気道管理と集学的治療による治療戦略. 第 58 回日本周産期・新生児医学会学術集会, 2022 年 7 月 12 日; 横浜.
- 24) 高山勝平, 古川泰三, 金 聖和, 文野誠久, 青井重善, 田尻達郎: 先天性横隔膜ヘルニアの欠損側による臨床解析. 第 58 回日本周産期・新生児医学会学術集会, 2022 年 7 月 12 日; 横浜.
- 25) 高山勝平, 文野誠久, 瀧本篤郎, 三村和哉, 嶋村 藍, 金 聖和, 青井重善: 当科における腹腔鏡下先天性胆道拡張症根治術の工夫. 第 9 回関西小児内視鏡外科研究会, 2022 年 7 月 16 日; 大阪.
- 26) 三村和哉, 青井重善, 川脇拓磨, 鈴木健斗, 瀧本篤朗, 嶋村 藍, 竹本正和, 高山勝平, 金 聖和, 文野誠久: 術前に原因を確定診断し得た高吸水性樹脂による腸閉塞の一例. 第 58 回日本小児外科学会近畿地方会, 2022 年 8 月 27 日; 大阪.
- 27) 川脇拓磨, 文野誠久, 嶋村 藍, 深田良一, 高山勝平, 金 聖和, 東 真弓, 青井重善: 腹腔鏡により外科治療方針を決定した交叉性精巣転移症の 1 例. 第 58 回日本小児外科学会近畿地方会, 2022 年 8 月 27 日; 大阪.
- 28) 嶋村 藍, 竹本正和, 高山勝平, 金 聖和, 東 真弓, 文野誠久, 青井重善: 室内犬により片側精巣欠損を伴う外陰部咬傷をきたした 1 ヶ月乳児の一例. 第 58 回日本小児外科学会近畿地方会, 2022 年 8 月 27 日; 大阪.
- 29) 瀧本篤郎, 文野誠久, 竹本正和, 高山勝平, 金 聖和, 東 真弓, 青井重善: 先天性胆道拡張症における術後肝内結石の治療方針. 第 45 回日本膵・胆管合流異常研究会, 2022 年 9 月 3 日; 徳島.

- 30) 嶋村 藍, 瀧本篤郎, 竹本正和, 高山勝平, 金 聖和, 東 真弓, 文野誠久, 青井重善: 外傷性膵損傷 (Ⅲb) が疑われた 9 か月後に膵胆管合流異常・先天性胆道拡張症と診断し得た一例. 第 86 回小児外科わからん会, 2022 年 9 月 24 日; 大阪.
- 31) 高山勝平, 文野誠久, 金 聖和, 東 真弓, 青井重善: 当院での腹腔鏡下胆道拡張症手術における挙上空腸脚の後結腸経路作成時の工夫. 第 41 回日本小児内視鏡外科・手術手技研究会, 2022 年 10 月 28 日; 岡山.
- 32) 三村和哉, 金 聖和, 川脇拓磨, 鈴木健斗, 瀧本篤郎, 嶋村 藍, 竹本正和, 高山勝平, 文野誠久, 青井重善: 小児膵 solid pseudopapillary neoplasm に対し ICG 蛍光法を併用し Warshaw 法による腹腔鏡下脾温存膵体尾部切除術を施行した 1 例. 第 41 回日本小児内視鏡外科・手術手技研究会, 2022 年 10 月 28 日; 岡山.
- 33) 嶋村 藍, 永藪和也, 竹本正和, 高山勝平, 金 聖和, 東 真弓, 文野誠久, 青井重善: 当院での胆道閉鎖症に対する葛西再手術症例の検討. 第 41 回日本小児内視鏡外科・手術手技研究会, 2022 年 10 月 28 日; 岡山.
- 34) 瀧本篤郎, 高山勝平, 竹本正和, 金 聖和, 東 真弓, 文野誠久, 青井重善: 長期管理中の総排泄腔外反症術後の複雑性尿路合併症における他科との連携. 第 78 回直腸肛門奇形研究会, 2022 年 10 月 28 日; 岡山.
- 35) 富田晃正, 宮地 充, 吉田秀樹, 柳生茂希, 土屋邦彦, 文野誠久, 岡島英明, 小西英一, 家原知子: 早期に切除を行ったシスプラチン療法抵抗性の hepatocellular malignant neoplasm の一例. 第 64 回日本小児血液・がん学会学術集会, 2022 年 11 月 25 日; 東京.
- 36) 文野誠久, 高山勝平, 金 聖和, 宮地 充, 家原知子, 井上匡美, 青井重善: 小児骨肉腫肺転移に対する外科治療の検討. 第 64 回日本小児血液・がん学会学術集会, 2022 年 11 月 25 日; 東京.
- 37) 竹本正和, 文野誠久, 三村和哉, 永藪和也, 高山勝平, 金 聖和, 東 真弓, 青井重善: 小児卵巣成熟奇形腫の適切なフォローアップについての検討. 第 64 回日本小児血液・がん学会学術集会, 2022 年 11 月 25 日; 東京.
- 38) 金 聖和, 文野誠久, 嶋村 藍, 竹本正和, 高山勝平, 青井重善, 古川泰三, 宮地 充, 家原知子, 岡島英明: 肝外胆管低形成をきたした肝門部原発切除不能先天性乳児筋線維腫症に対する外科治療. 第 64 回日本小児血液・がん学会学術集会, 2022 年 11 月 25 日; 東京.
- 39) 東 真弓, 嶋村 藍, 永藪和也, 古川泰三, 文野誠久, 青井重善: 胆道閉鎖症患者由来胆管上皮細胞の培養. 第 49 回日本胆道閉鎖症研究会, 2022 年 12 月 3 日; 東京.
- 40) 嶋村 藍, 永藪和也, 竹本正和, 高山勝平, 金 聖和, 東 真弓, 文野誠久, 青井重善: 当院での胆道閉鎖症に対する葛西再手術症例の検討. 第 49 回日本胆道閉鎖症研究会, 2022 年 12 月 3 日; 東京.
- 41) 高山勝平, 瀧本篤郎, 三村和哉, 金 聖和: 当科における腹腔鏡補助下 Hirschsprung 病根治術の治療成績の比較. 第 35 回日本内視鏡外科学会総会, 2022 年 12 月 8 日; 愛知.
- 42) 瀧本篤郎, 高山勝平, 三村和哉, 内藤泰行: Zinner 症候群を合併した高位鎖肛に対して腹腔鏡下に精嚢嚢胞切除と鎖肛根治を同時施行した 1 例. 第 35 回日本内視鏡外科学会総会, 2022 年 12 月 8 日; 愛知.
- 43) 三村和哉, 金 聖和, 瀧本篤郎, 嶋村 藍, 高山勝平, 生駒久視: 小児膵 solid pseudopapillary neoplasm に対し Warshaw 法による腹腔鏡下脾温存膵体尾部切除術を施行した 1 例. 第 35 回日本内視鏡外科学会総会, 2022 年 12 月 9 日; 愛知.

獲得研究費等

A) 科学研究費助成事業

- 1) 文野誠久 (分担) : 基盤 B (継続) 「神経芽腫モデルマウスを用いた GD2 抗体発現間葉系幹細胞による新規細胞免疫療法開発」
- 2) 文野誠久 (分担) : 基盤 B (継続) 「骨軟部肉腫、小児悪性腫瘍に対する新規・体内空間可変粒子線治療の開発」
- 3) 東 真弓 (代表) : 基盤 C (継続) 「胆道閉鎖症の肝外胆管における異常免疫とその増強因子の解析」
- 4) 古川泰三 (代表) : 基盤 C (継続) 「間葉系幹細胞由来エクソソーム羊水腔投与による横隔膜ヘルニアに対する胎児治療の開発」
- 5) 坂井宏平 (代表) : 基盤 C (継続) 「転移性神経芽腫シンジェニックマウスモデルによる外科治療戦略の最適化研究」
- 6) 田中智子 (代表) : 基盤 C (継続) 「進行神経芽腫に対する MEK 阻害剤の臨床応用に向けた耐性メカニズム探索」
- 7) 高山勝平 (代表) : 基盤 C (新規) 「横隔膜ヘルニアに対するダイレクトリプログラミング骨格筋細胞シートの開発」
- 8) 竹本正和 (代表) : スタート支援 (新規) 「MAPK および Hippo 経路阻害薬併用による神経芽腫薬剤耐性の克服と後療法治療モデル開発」

B) 厚生労働省科学研究費

- 1) 文野誠久 (分担) : 難治性疾患等克服研究事業 (継続) 「難治性小児消化器疾患の医療水準向上および移行期・成人期の QOL 向上に関する研究」

C) AMED

- 1) 文野誠久 (分担) : 革新的がん医療実用化研究事業 (継続) 「小児胎児性固形がんに対する標準的治療法開発」
- 2) 文野誠久 (分担) : 難治性疾患実用化研究事業 (継続) 「シロリムス (顆粒剤・錠剤) による難治性の脈管腫瘍・脈管奇形に対する分子標的治療法を開発する研究」

D) その他

- 1) 辻 亮多 : ゴールドリボン・ネットワーク治療研究助成金 (新規) 「神経芽腫微小残存病変マウスモデルを用いた MEK 阻害剤および YAP 阻害剤の併用による治療効果の検討」
- 2) 文野誠久 : がんの子どもを守る会治療研究助成 (新規) 「神経芽腫に対する遺伝子組換え GD2 抗体発現間葉系幹細胞による新規細胞療法の開発」

[VI] その他

- 1) 三村和哉 : 第 120 回日本外科学会定期学術集会クイズ大会入賞. 2022 年 4 月 15 日, Web.
- 2) 文野誠久 : 小児外科での使用経験. 難治性リンパ管疾患 Professional meeting~ラパリムス療法の最前線~ (ノーベルファーマ社セミナー). 2022 年 7 月 22 日; Web.
- 3) 井上真帆 : 卒後 10 年目でのアメリカ臨床留学 小児外科フェローになってみました. 京府医大誌, 131 : 857-860, 2022.